

「じゃがいものうち」通信 NO.68 2011.3.22

～ 障害者と共に生きる仲間たち～

NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間136-6

Tel.Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

URL:<http://www.minc.ne.jp/npo-jaga> 代表 楯篤雄



ポ
ン
タ
ン
館
に
て
タ
ン
カ
ン
ジ
ュ
ー
ス
作
り
会
員
や
ボ
ラ
ン
テ
ィ
ア
の
方
々
と
共
に
働
く

仕 事 場 (日 中 活 動)

先日「じゃがいものうち」の恒例行事「タンカンジュース作り」がありました。振り返れば早いもので今年でちょうど10年になります。「じゃがいものうち」の収益事業として、また障害者の「働く場」作りに向けてスタートいたしました。今年も3名の障害を持つ仲間と共に働きました。白い作業着にエプロン、帽子、マスク、手袋を身にまとい、他の人たちとともに作業をします。今や何も言わずとも自分の役割の作業を行います。初めて見ると、そこに障害者が働いているとは気がつかないでしょう。ひょっとしたら一緒に作業をしても気がつかないかもしれません。ジュース作りの行程には、様々な作業があります。みかんキャリー運び、瓶洗い、皮むき、充填作業、打栓、ラベル貼り等々。障害を持っていても個性に合う作業を担当すれば、ジュース製造業という職場においては「障害」という言葉を使う必要がなくなると、この頃感じています。「じゃがいものうち」が日中活動の事業化を考えると、その人に合う仕事を創ることが重要です。屋久島の中で、障害者がいきいきと働く姿を想像し、いろいろと模索しています。世の中には様々な職種があり、またその中にも細分化すれば無限な数ほどの作業があります。その人その人の個性に合う仕事や作業に出会えることは幸せなことだと思います。大勢の人が暮らす社会の中で、様々な個性が活かされていくことが、私たちの目指すところでもあります。(楯 篤雄)

東北地方太平洋沖地震災害義援金の受付について。

この度は、人知をはるかに超えた自然の脅威を嫌というほど、見せつけられています。甚大な被害を受けている被害者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。「じゃがいものうち」として今出来ることは無いかと考えた末、急遽、義援金を募ることに致しました。

受付は「じゃがいものうち」まで現金か、会費納入の際「義援金」として振込を御願いたします。会費納入日は通常3月31日ですが、この度は4月15日までとします。

尚、義援金は日本赤十字社を通じて被災者救援のために寄付いたします。

みんなのおうちコーナー

増築しました。

あけましておめでとうございます、というには遅いですが.....

年末から年始にかけては屋久島も大荒れの天候で寒い日が続きましたね。皆様お変わりございませんか？

みんなのおうちの大きな変化と言えば、12月25日のクリスマスに念願の増床が完成したことです！ 大工のサンタさんが、何としてもこの日までにと頑張ってくれました。

畳の部屋の壁を取り除き、海側へ12畳程張り出したフローリングの多目的部屋は、現在のところ寝室兼談話室として使用しています。広くなっただけでなく、壁を開けて広い窓を設置したことにより、光が差し込んで随分と明るくなりました。また、毎回行っていたベッド移動の手間が省け、か弱い女性スタッフは大変助かっております。今後はイベント等いろいろな使い方を考えて行きたいと思っています。どうぞ皆様も見学にいらして下さいね。

会うは別れの始めとか...年度末、春、季節も人も節目のシーズンですが、元気にそれぞれの新たなスタートをきりましょう！！



新スタッフです。

1月から土曜調理担当をしています。調理の仕事はあまり経験がありません。さらに未婚なので、他人のために料理をすること、またのんびりした性格なので時間内で作りあげることにプレッシャーを感じています。しかし、何事もチャレンジ！これを性格改善の機会にします。

本業は整体です。こちらには四宮さんや大原さんがおられ、私はそちらも興味深く、本業でも学べることや皆様のお役に立てることがあれば嬉しいです。

しかし、まずは調理！役割をこなせるようがんばります。よろしくご期待下さい。（中地陽子）

お疲れ様でした！ 高山宏子さん

ケアのお手伝いと調理を担当された高山宏子さんが、2010年12月末で退職されました。みんなのおうちには2009年より、美味しい食事と明るい笑顔でみんなを楽しませてくれた頼もしい存在でした。ありがとうございました。退職された後もじゃがいものうちの会員として、ボランティアとして引き続きお手伝い頂いています。先日の産業祭でも、みんなと一緒にじゃがごころ作りをやってくださいました！これからもよろしく願いいたします。自家製野菜や果物など、手作りの差し入れありがとうございました。

これからもお顔を見せて下さい。お待ちしております～す (*^_^*)/



行事報告

餅つき会 12月22日(水) 「みんなのおうち」

ホテルの玄関前の坂を下ったところに「じゃがいものおうち」と「みんなのおうち」がある。

私はこの前を通して家に帰るのだが、暮れのある日いつも静かな「みんなのおうち」に人だかりが出来てとても賑やかだった。何事だろうと近づいてみると餅つきをしていた。懐かしい。昔は自宅でも餅つきをしていたのだが、いつの頃からかその伝統が途切れてしまった。皆さんが楽しそうにしている姿を眺めていると一緒に捣いてみたらと声がかかった。渡りに舟と早速杵を借りて餅つきに参加した。蒸し器は屋根付の蓋のついた立派なもの、木の臼はかつて使っていた石臼と違い餅をつく部分の直径が僅かに狭い。この差のせいではないが調子よく捣いて

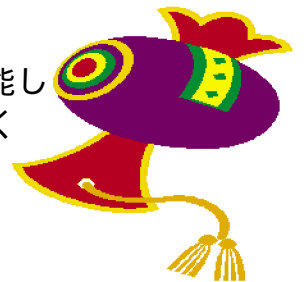


いた手元が狂って杵の端を傷つけてしまった。昔とった杵柄とはならなかったが、久し振りの餅つきに思い出が甦った。昔は暮れの正月用の餅つきだけでなく旧正月用に寒餅をつき、かき餅やあられを作っていた。「じゃがいものおうち」と「みんなのおうち」の皆さんに感謝。このように和気あいあいと参加できる餅つきをホテルのお客様にも体験していただけるといいのですが・・・

JRホテル屋久島 総支配人(石橋信夫)

新春茶話会 1月4日(火) 「じゃがいものおうち」(15名)

恒例の新春の集い、今年も皆さんの心のこもった豪華で美味しい手料理を堪能しながら、新年の抱負や近況などに話しが弾み、みんなで合唱したりして、楽しく和気藹々とした茶話会となりました。



豚味噌作り 1月17日(月)

ぽんたん館での豚味噌作りに初参加しました。普段から、保存食や加工品に興味があったので、屋久島で人気のある豚味噌がどんな風に製造されているのか、楽しみでした。島に暮らすひとびと育成会のひとびとと共に過ごせる時間でもあり、新しい出会いも沢山ありました。朝集合してから、準備を整え、しょうがの泥を洗って、みじん切りにし、黒豚を細切りにする。調味料を計量して、回転鍋



で豚肉を茹でて・・・味噌を入れてから、ぶくぶくと熱い味噌が跳ねるのを気にしながら、しっかりとかき混ぜる。ここが美味しくなる重要なところ。とても大きな鍋で沢山の材料をぐつぐつと料理し、皆で連携して瓶詰めして、煮沸する。きれいに片付けをして、終了です。口を動かしながら、手を動かしつつ、順調に作業がすすんで、無事に終了！ひとつひとつ丁寧に皆の手によって作られた「豚味噌」は、とても美味しかった！また加工品をひとつ覚えることができました。皆で作る楽しみも。ありがとうございました。

(羽田郁美)

産業祭出店 2月5日(土)

毎年恒例のイベント産業祭は、今年は2月5日で例年より早く、土曜日でもあり来場者数はいつもより少なめとか。それでもじゃがいものおうちのお店の前には沢山の方が訪れ盛況でしたね。私は、たんかんジュースのビン詰めとウコン、ジャガイモ、安納芋の販売コーナーをお手伝いさせていただきました。中でもジャガイモと安納芋は一袋100円の安さで、販売開始早々から売れ、一人で10袋も買い求めるお客さんもいて、あっさり完売。私も買おうと思ったのですが、キープする間もありませんでした。勿論、人気のジャガコロと綿菓子は大勢のお客さんの対応で大忙し、裏方さんの活躍、チームプレイでの販売までの流れるような作業は、ボランティアさんの相互の絆と信頼感があってのことで素晴らしいと感じました。次の夏の温泉祭りでも、皆さん頑張りましょう。



(吉田克雄)



産業祭の出店のため久しぶりにジャガコロ作りを手伝わせていただきました。前日は下ごしらえのため、じゃがいものおうちでジャガイモの皮むきと大きさを整える作業を四宮さんはじめ皆様と楽しくお手伝いしました。当日はジャガコロの販売担当を受け持ちました。いつものことですが、行列のできるほどの売れ行きで完売しました。じゃがいものおうちのジャガコロは美味しいと皆様がよく分かっていたideているようですね。

少し反省するところもあるようです。新ジャガイモなのかな？中心に固めのところがあり、ガリガリした食感が口に残ったと、私の知人は言われていました。夏祭りには気をつけたいですね。当日の産業祭の雰囲気は、どの売り場もお客さんが並んで買い物をしている様子で、楽しそうでしたね。産業祭バンザイ。

(吉田照子)

おおぼらかい

1月25日(火)茶話会(12名)

年明け最初の集まりでしたが、皆さんの関心事は、老後の過ごし方や健康問題等についてでした。いろいろと話しが弾み、大変楽しい会となりました。今年も大いに語りましょう。



2月22日(火)(7名)

今回は音楽&癒しのシンギング・ベルということで沢山の方が参加されるのではと思っていましたら、風邪をひかれたりして体調を崩された方が多く、残念ながら参加者は少なかったですね。それでも、参加者の方達はシンギング・ベルの音色に癒され、身体が軽くなった様な心地よさを感じられた様です。又、この様な機会を設けたいと思いますので、この次は体調に気をつけて、是非参加して下さい。ボランティアの裕子さん、聖美さんありがとうございました。

タンカンジュース作り 2月21(月).22(火).23日(水)、3月10日(木)

今年のタンカンは大裏年、しかもヒヨ鳥の襲来が激しく、いつもの半分しか収穫できなかったと農家の方が口々にぼやいていました。そのためタンカンジュースの原料仕入も大変難しく、去年の約半分しか手に入りませんでした。というわけで今年は四日間のみでの製造となりました。

しかしそんな暗い面持ちの中、例年通り安房小6年生32名が元気な顔でやって来ました。おかげで私達も元気を頂き、製造初日「じゃがいものうち」メンバーやボランティアのみなさんと入り交じり、楽しく作業が出来ました。ここにこども達の作文を紹介致します。



「じゃがいものうち」の方々へいろいろと私達に指導してくれたり、やさしくせっしてくださりありがとうございます。私はたんかんジュースづくりを楽しみにしていました。けど商品をつくるのには、すごく時間がかかるんだなあと思いました。しょうがいしゃといっても、一人一人には、できる物が1つはあるので私はそんな人たちを守っていきたいです。これからも、いろいろ大変だと思いますが体に気をつけてがんばってください。

安房小6年 松元夏蓮

じゃがいものうち」の方々、タンカンジュース作りを教えてくださいました。月曜日はありがとうございました。いろんな事を教えていただき私もいい体験ができたな~と思います。とても大変でやりがいのある仕事で、毎日やっているみなさんは、すごいと思います。一つ一つをくわしくくわしく教えてくださいたり、つかれた心を温かい言葉でなごましてくれたり、とっても感謝しています。すべて手作業のたんかんジュースは、やっぱりがんばった分だけ気持ちがこめられるんですね。この仕事をしてみて、働く人のつらさや大変さが分かりました。だから私たちは、どんな物にでも感謝して、生活するようにします。本当にありがとうございました。

安房小6年 田中里穂

じゃがいも掘り 3月3日(木)

先週、一回延期して、3月3日(木)ジャガイモ収穫のため、尾之間耕地整理へ。「じゃがいものうち」のみなさんは、早速、作業を進めてくださっていました。楯さんファミリー、まみよさん夫婦、じゃがいものうち専属芸人(高見澤さん、鹿島さん)専属カメラマン(馬場さん)中間の千賀子さんは、大きく手を振って、迎えて下さいました。

早速、作業に参加。楯さんの息子友悟さん(実は私の教え子)が機械で掘り起こした後を掘って、小さい





物も、病気の物も全て拾うのが仕事。バスの中で一人一人が決めた「仕事を進んでするための作戦等」を胸に、キャリーの中に次々とジャガイモを入れて、いっぱいになると、軽トラまで運びます。キャリーいっぱいの重さは、約20kg。子ども達は声を掛け合い、2～3人で運びます。それでも持てなかったら、高見澤さん、鹿島さんと運びます。半分も終わらないうちに、準備していた35キャリーがいっぱいになり、あわてて、キャリーを持って来られました。予定より作業が進まず、ぎりぎりまで、イモ集め。掘り残しが無いが、足で調べて終了。今回もたくさんのお菓子を準備し

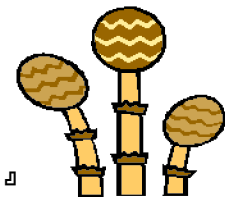
ていただき、おいしく頂きました。楯さんから、「予定の倍、77キャリー。イモも例年になく、大きくてきれい。植えてくれたみんなの力。ありがとう。」の言葉を頂きました。バスに乗ったわたしたちが見えなくなるまで、ずっと手を振ってくださった皆さんに、子ども達も大きく笑顔いっぱいに手を振りました。

バスの運転手さんから、頑張った賞として、“原のやまんこ公園”前をゆっくり走って頂き、満開のさくらを見せて頂きました。きらきらしているようでした。

(安房小4年担任 渡邊安美 学級通信44号より)

行事予定

ウコン、カジュツ掘り	日時	4月6日(水)AM9:00より	雨天予備日4月13日(水)
	場所	尾之間、新里自動車下の畑	
	持ち物	お弁当、飲み物、手袋	
おおぼらかい	日時	3月25日(金)	4月26日(火) 5月24日(火)
		(午後1時30分～)	
	場所	みんなのおうち	
総会	日時	5月15日(日)午後1時～3時半	
	場所	尾之間『屋久島町中央公民館2階大ホール』	



屋久島町障害者福祉連合会だより

屋久島町障害者福祉連合会では、各会からの代表等による話し合いを積み重ね、屋久島の障害児・者およびその家族等が、地域で生活してゆくという「当たり前の生活」に向け、僅かずつではありますが、歩んでいます。昨年12月に行った「勉強会」でも、障害児・者団体のそれぞれの立場から、その問題や課題が報告され、またその解決方法について「障害者自立支援法」からの読み取りについても提案がありました。また、行政の参加もあり、そこでは屋久島町として、障害児・者への福祉のより積極的な取組みの必要性について確認されました。でも、本当に必要なことは、島民一人ひとりの心からの理解と協力だと思えます。障害児・者がそれぞれが生まれ育った地域で、そこに住む人たちの理解と協力と共に、安心して生活できる環境をつくってゆきたいと思っています。皆様の、益々のご理解とご協力を今後もよろしくお願ひします。

大山 正典(お問合せ、ご意見等は...090-4775-9239まで)

「安房小学校6年生がお手伝いに来てくれたよ」の巻



今年もやってきました！ じゃがいものおうち タンカンジュース作りのシーズンが！
（2月21日～23日 ぽんたんかん加工室にて）しかし、今年は、タンカンが無いという、不測の事態となりました。なぜ、タンカンが無いのか。一つは、去年は豊作、今年はその裏年に当たるため、なりが少ない。二つ目は、ヒヨドリの数がものすごい！ ヒヨドリやメジロはタンカンを根こそぎツツき味見をするため穴を開けてしまう。または鳥の爪のひっかき傷がある。（鳥の被害にあったタンカンは、ジュース用にもなりません）三つ目は、タンカン自体が無いので、Sサイズのタンカンも商品としてまわされる。そのような

理由で、ジュース用までタンカンは回ってこなかったのです。そんな中、じゃがいものおうちのタンカンジュース作りが始まりました。21日のジュース作りには、屋久島町立安房小学校の6年生の皆さん（32名）が、ジュース作り体験も兼ね、ボランティアに来て下さいました。九時に到着し、白衣、エプロン、帽子、アームカバー、マスクを着け、早速作業開始です。瓶洗い、タンカンの皮むき、ジュース絞り、瓶詰め、王冠閉め... お弁当をはさみ、三時までの作業と長い時間でしたが、みんなとっても一生懸命に作業して下さいました。ホントに驚いた子どもたちの元気さには... 大人たちはお弁当を食べると、身体も重くなり、まぶたも重くなり、グデーっとしています。子どもたちは直ぐに鬼ごっこを始め、走り回っているではありませんか！！私にもそんな頃があったのかしら... (^_^;)今年のタンカンジュースは貴重ですよ！是非！【追伸】私のブログに安房小学校とのジュース作り作業風景や、みんなの表情をたくさんの写真とともに載せさせて頂いておりますので、宜しければのぞいて見て下さい。

【お知らせ】3月19日（土）午後1時半より、屋久島徳州会病院にて、手をつなぐ育成会と篠笛演奏をして下さる朝倉さんと私で春のコンサートを行います。宜しければ見にいっしょして下さいネ！
（鈴木裕子）

新年度の会費とボランティア保険代の納入についてのお願い

日増しに春の訪れが感じられる候となりました。皆さん如何お過ごしですか。日頃から、当会の運営にご協力を頂き感謝しております。皆様の会費が貴重な財源になり、お陰様でいろいろな活動を展開する事が出来ました。今年度のご支援を感謝し、引き続きご協力をお願い申し上げます。

つきましては、新年度の会費をボランティア保険の手続きの関係上、4月15日までに同封の口座振込用紙（払込取扱票）にてお振り込みいただくか、直接「じゃがいものおうち」へ、

ご持参下さいますよう重ねてお願い申し上げます。

年会費

一般会員	一口 3,000円
（家族で二人目以降	一口 1,000円）
（ボランティア保険	一口 280円）
賛助会員	一口 2,000円
賛助団体会員	一口 5,000円

賛助会員の方もボランティア保険に加入出来ます。

ホームページリニューアル



昨年度から課題となっていたホームページがリニューアル（福祉マップを除く）しました。「じゃがいものうち」の活動状況や通信など、直近のものを含め写真入りで紹介しています。みんなのうちの紹介コーナーも設けましたので是非ご覧下さい。タンカンジュース、ウコン、ガジュツ、豚味噌などの販売コーナーもあります。

(URL:<http://www.minc.ne.jp/npo-jaga>)

感謝録 (12月20日～3月20日 敬称略・順不同)

いつもご支援、ご協力ありがとうございます。(じゃがいものうち、みんなのうち)

山口秋平 岡村和子 稲場輝雄 羽田順子 岩川絹子 梶野かおり 松本活栄 山田由紀子
大迫チツ 古賀早苗 峯島信行 中地陽子 鈴木裕子 日高ゆかり 松本三枝子 吉村加代子
日高千春 飯田かおる 折田ひろみ 渡辺一夫 渡辺まみよ 大原貞子 井上正勝 丸山正幸
田中和彦 川上雄治 長谷部なほ子 中村彌太郎 岩川チヨ 古居節子 相良知恵 日高チズ
小笠原勝弘 高山宏子 山崎勝 笹川寛樹 古里祐二 池上和代 池上純久 屋久島センバス
岩川美意子 泉清治 日高時安 日高仁

喫茶コーナー



春の訪れとともに、じゃがいものうちの喫茶もスタッフの入れ変わりが続いています。それでもお馴染みのお客様は、どのスタッフにもいつも優しく声をかけてくれます。お陰様で、皆楽しくお仕事をさせていただいております。最近ではお店のアイドル！つむぎちゃんがお客様をお迎えしてくれます。名前もしっかり覚えていて、おしゃまなつむぎちゃんに心も癒される毎日です。これからも沢山の皆様をお迎えして下さい。“つむぎちゃんよろしくね！”



編集後記

「じゃがいものうち」の2月～3月は農繁期、作業や行事に追われ「心ここにあらず」と思っていたら、この度の地震・津波の災害、原発の事故。失った家や家族を思い、ただ呆然と立ち尽くす被災者の姿。被災地から遠く離れていて身内だけの安否を確認し、ただ安心している自分で、はたして良いのだろうかと……。だからといって何も出来ない自分が、やるせない思いです。せめて今、私たちに出来ることはなにかと考えた末、この通信を利用し義援金の呼びかけをさせていただきます。被災者の皆様に少しでもお役に立てればと思います。どうか皆様ご協力宜しくお願い致します。

(楯篤雄)